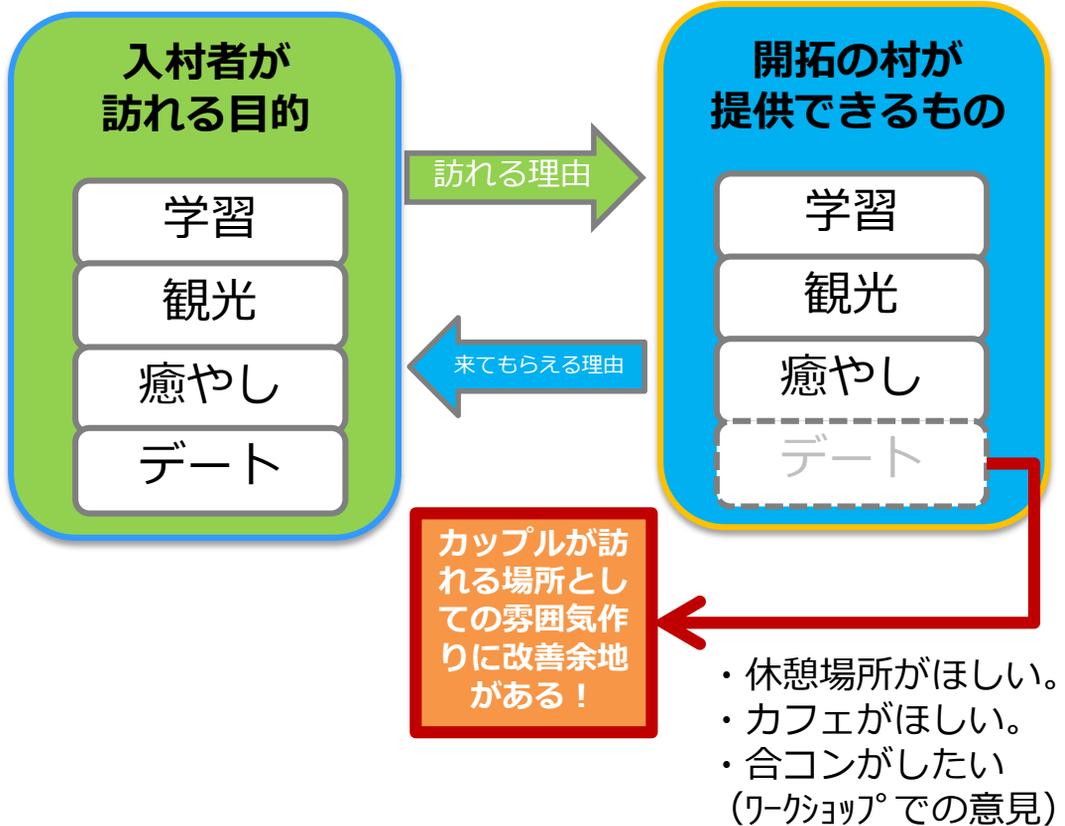


開拓の村にデートスポット出現!!

「開拓カフェ」オープンでカップルの入村者倍増!

課題



提案

開拓カフェを設置して、カップルで村に来てもらう!



開拓の村の軽食堂を「開拓カフェ」に名称変更し、雰囲気向上、メニューを充実させて、リニューアルオープン。開拓の村に来るカップルの倍増を図る。

- ① カフェのメニューの一部は、近隣の大学等と連携して開発。
- ② カフェ店内の調度品・装飾品は、明治・大正・昭和期の物など一般の方からの提供を募る。(ファンディングの一環として)
- ③ カフェを会場に合コンも開催。

文化財カードを活用した道内歴史文化施設の活性化

1 文化財カード

道内には国宝をはじめ、国指定、道指定、市町村指定の文化財が1,335件存在する。また、その内容についても有形文化財、有形民俗文化財、史跡、名勝、天然記念物、無形文化財等多岐に分類される。

これらの文化財から選抜して指定ごと、分類ごとに整理し、写真、解説付きのカードを作成する。

2 歴史文化施設の課題

文化財に興味のない人は歴史文化施設に足を運ばないため、文化財に興味のない人を歴史文化施設に引き込む工夫が必要である。

3 文化財カードのねらい

文化財カードを、その文化財に関連する歴史文化施設に行かなければ入手できないこととすることで、文化財に興味のない人でもカード収集が歴史文化施設に足を運ぶ動機となるため、歴史文化施設の入場者数の増加につながる。

また、実際に文化財がある場所に赴き、その風土や背景、文化財の歴史を見聞することで、より深く文化財についての知識を身につけてもらうことができる。

ファンドレイジングとして、1枚100円程度で販売し、収益金を文化財の保存活用費用に充てたり、カードに次回の入館料無料や地域の飲食店での割引等の特典を付加し、地域活性化の道具として使うこともできる。

4 カード収集を飽きさせない工夫

カード収集を飽きさせないためには、例えば次のようなコレクター心をくすぐる魅力溢れるカードの作成と工夫を凝らした仕掛けが必要である。

- ・ブームの火付け役としてマスコミの力を借りる。
- ・特定のカードを持っていないと貰えない等、ある条件を満たさないと手に入らないカードを設定する。
- ・ゴールデンカムイ等北海道に関わりのある人やモノとコラボレーションした限定カードを作成する。
- ・文化財の指定や分類を活かして、カードにゲーム的要素を付加する。

5 文化財カードを活用したイベントの開催

文化財カードがヒットした場合、開拓の村において上記の限定カードの配付や文化財カードゲーム大会、文化財カード関連グッズの販売等、文化財カードを活用したイベントを開催して開拓の村の入村者数の増加がねらえる。

楽しみながら文化財に親しもう！

集客数が増えて歴史文化施設が活性化！

課題

知識見聞を求めない人を呼び寄せることができない！

文化財には興味ないな～

市民が求めるもの

知識見聞

場所

設備

？

訪れる理由

集客理由

歴史文化施設が提供できるもの

知識見聞

場所

設備

？

文化財に興味のない人を呼び込むためのツールが必要

提案

文化財カードを配付して、施設に人を呼び込もう！

国指定



文化財に興味のない人が歴史文化施設に足を運ぶ動機付けとなるような、そこに行かないと手に入らない文化財カードを作成する。

- ① ファンドレイジングとして、1枚100円程度で販売、収益を文化財の保存活用費用に充てる
- ② カードに特典を付加し地域活性化に活用
- ③ カード収集を飽きさせない工夫を凝らしたカードを作成
- ④ 文化財の指定や分類を活かして、カードにゲーム要素を付加
- ⑤ 開拓の村で文化財カードイベント開催！
限定レアカードの配付や文化財カードゲーム大会、文化財カード関連グッズの販売で開拓の村の入村者数UP

ヘリテージマネージャーを活用した開拓の村の歴史的建造物修復及び歴史的建造物移築復元

1 ヘリテージマネージャーとは

ヘリテージマネージャーとは、歴史的建造物の保存活用に係る専門家のことで、文化遺産及び歴史的建造物、歴史的資産等の修理技術や活用方法、歴史文化遺産を活かしたまちづくり等に関する専門知識や登録有形文化財の評価書作成までのスキルを有し、主に建築士、学芸員、建設業に従事する人材である。

北海道では平成26年度よりヘリテージ・マネジメント専門職育成講座が開講され、平成28年度までに約100名のヘリテージマネージャー及びヘリテージコーディネーター（保存活用に向けた提案をヘリテージマネージャー等各種専門家と連携可能な市民も含めた人材）が道内各地に誕生している。

2 開拓の村の課題

開拓の村では1983年の開村以来、北海道の歴史的建造物が移築復元・再現され現在52棟の歴史的建造物が展示されているが、旧小川家酪農畜舎をはじめ老朽化し一部破損している建造物が存在する。また、平成10年の旧開拓使札幌本庁舎の復元から約20年もの間、新たな建造物の移築復元・再現が行われていない。

アミューズメント施設的な観点から見れば、壊れたアトラクションの放置は施設のマイナスイメージとなり、また、次々に新しいアトラクションを打ち出していかなないと施設のマンネリ化が進み、集客数の増加は望めない。

このことから、開拓の村の集客数の増加には、新しい歴史的建造物の展示が必要であると考えられる。

3 ヘリテージマネージャーの活動の場の提供

道内各地に約100名のヘリテージマネージャー及びヘリテージコーディネーターが誕生したが、今後のスキルアップのための活動の場が求められている。

そこで、開拓の村を活動の場として提供し、破損した歴史的建造物の修復に携わることで、ヘリテージマネージャーのスキルアップが図られると考える。

また、これからヘリテージマネージャーを目指す者が受講するヘリテージ・マネジメント専門職育成講座の単元として活用することもできる。

当面は現存する52棟の歴史的建造物の修復に携わり、将来的に歴史的建造物の移築復元・再現に取り組むのはどうだろうか。

道内各地に誕生したヘリテージマネージャーから全道各地に点在する価値を見いだされたいまま失われつつある移築復元候補物件の情報を収集することができる。

4 歴史的建造物の移築復元、修復をテーマにした事業展開

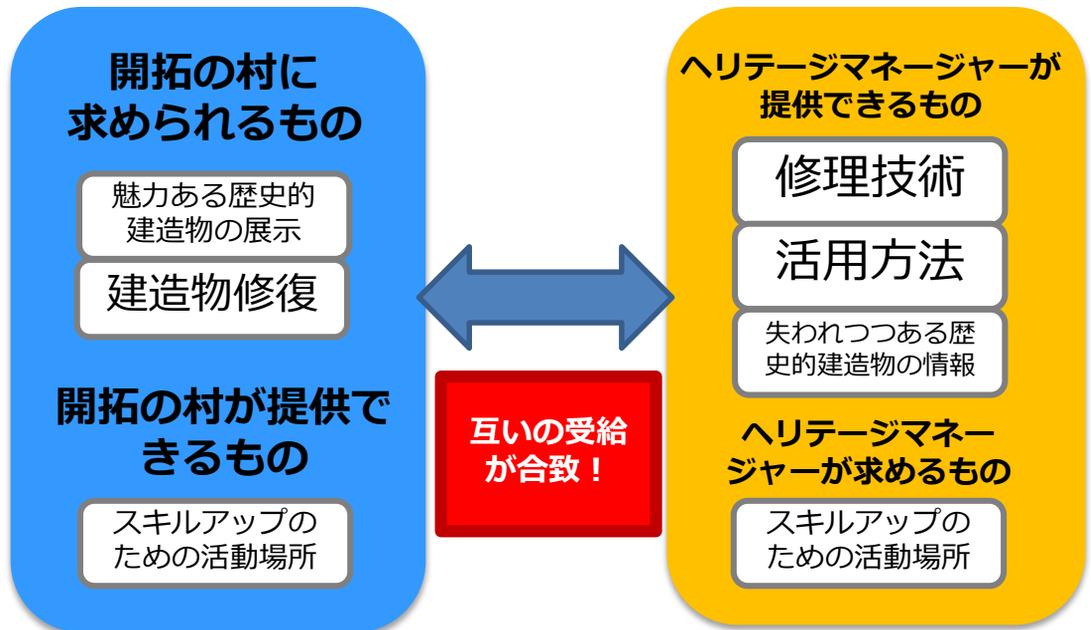
開拓の村において、例えば、次のような歴史的建造物の移築復元・修復に関連する事業を企画し、入村者数の増加をねらう。

- ・復元作業の見学や復元作業の参加等市民参加型の事業
- ・ファンドレイジングを活用した建造物の復元（寄付者の名前を復元建造物に掲示等）
- ・50年後に向けた長期的スパンで複数の歴史的建造物移築復元を計画。
- ・北海道誕生200年を記念した開拓の村のシンボリック歴史的建造物の復元を計画。
- ・開拓の村にはないコタン群を新設し、明治期におけるアイヌの歴史を再現。

開拓の村の魅力UP！

ヘリテージマネージャーのスキルUP！

課題



提案

ヘリテージマネージャーを活用して開拓の村の歴史的建造物修復と移築復元しよう



現在道内に約100名誕生しているヘリテージマネージャーを活用し村内の歴史的建造物を修復、移築復元・再現することで、開拓の村の魅力が増し、入村者数増加をねらう。開拓の村をヘリテージマネージャーの活動の場として提供し、修復等の研修を開催しスキルアップをねらう。

- ① 復元作業の見学や復元作業の参加等市民参加型の事業を展開
- ② ファンドレイジングを活用した建造物の復元（寄付者の名前を復元建造物に掲示等）
- ③ 50年後に向けた長期的スパンで複数の歴史的建造物移築復元を計画
- ④ 北海道誕生200年を記念した開拓の村のシンボリック歴史的建造物の復元を計画
- ⑤ コタン群を新設し、明治期におけるアイヌの歴史を再現

クラウドファンディングでの資金調達による
歴史文化施設の現状発信

課題 歴史文化施設の現状があまり知られていない



提案 歴史文化施設での取り組みをクラウドファンディングによる資金収集で広く知ってもらう。
・ 資金集めの中で歴史文化施設の現状を広く知ってもらう。
・ 道内各地の歴史文化施設において行う。



具体的な事案

- ・ 歴史文化施設内でのカフェ運営
- ・ 歴史文化施設の改修、修繕
- ・ 歴史文化施設内でのイベント

「道民のお茶=エント茶」で

北海道文化のさらなる醸成と魅力をアップ！

現状

北海道には文化がないなんて言われてる。

でも実は...

縄文文化やアイヌ文化、常に文化はあるんです！

じゃあ...

北海道の文化を

- ①道民が再発見すること
- ②来道者へ発信すること

北海道の魅力

アップ！！
文化への共感
アップ！！

提案

アイヌのお茶「エント茶」を道民のお茶に！

アイヌの人たちが日常お茶のように飲んでいた薬草茶を飲料として開発・販売。
沖縄県の「さんぴん茶」のように、地元ならではのお茶にする。



大学(効能)

飲料業者(ノウハウ)

道(PR、マッチング)

アイヌ協会
(歴史、文化)

開発
販売

- ・150年記念
- ・象徴空間開館記念
- ・開拓の村カフェ
- ・道の駅
- ・セコマ

北海道文化の醸成
と魅力の向上

売り上げの一部を文化基金へ寄付

クラシックな建物と親しみ、サッポロクラシックを当てよう ～ポケモン写真コンテスト～

応募から当選までの流れ

- ①入村者が村内でポケモンGOを行い、建物や村内の景観と一緒にポケモンが写った写真を撮影
- ②撮影した写真にタイトルをつけ、住所・氏名を記入し、写真を添付して開拓の村のメールアドレスに送信し、応募完了
(例)
 - ・旧浦河公会会堂で結婚式を挙げる幸せいっぱいのルージュラ
 - ・農村群でせっせと田植えをするフシギダネ
 - ・漁村群で網から逃げて飛び跳ねるコイキング
- ③応募終了してから1ヶ月後に開拓の村HP等で当選者の発表を行い、当選者に以下の景品を郵送

すてきな景品が当たるよ！
みんな応募しよう♪



☆大賞

サッポロクラシック1箱、リボンシトロン・ナポリン各6本

★副賞

サッポロクラシック6缶、リボンちゃんトートバック

○特別賞

サッポロビール博物館プレミアムツアー入場券

選考方法

応募された写真の中から、開拓の村の良さが伝わり、かつユニークな写真を3作品ほどに絞りこみ、最後は村の入口等で1週間ほど一般投票を行って、大賞を決定する。

実施目的

ターゲットは、小学生の子供がいる家族連れ。
どうしたら開拓の雰囲気が出るポケモンの写真が撮れるのかを親子で考えることを通じて、開拓時代への興味・関心を高めてもらう



○ 開催時期 ～ 6月

○ 開催期間 ～ 約1ヶ月間

企画周知方法

- ・開拓の村HPやフェイスブックなどで発信
- ・チラシを作成し、イベント開催期間中は入村受付時に配布

※サッポロビールとの共催をPR！！

<北海道とサッポロビール株式会社の関係>

北海道

役割

- ・フィールドの提供
- ・道の広報媒体等を活用した宣伝

メリット

- ・開拓の村の知名度アップ、誘客促進

Win-Winの関係

サッポロビール
株式会社

役割

- ・チラシの作成、景品提供
- ・イベント広報

メリット

- ・企業活動及び商品の宣伝

北海道150年マイルストーンプロジェクト

～150年の節目を迎えるに当たり、北海道の歴史文化の価値を再認識し、みらいへと継承～

課題

■ 現状

「歴史が浅い、文化的遺産が少ない」等の誤った認識

○過去

- ・ 開拓時代の生活の知恵
- ・ 歴史的建物 etc

○現在

- ・ 個人・団体・企業等の地域活動
- ・ 地域資源、わがまちの名所 etc

文化芸術活動（支援）の拠点や機会が限定

○未来

未来予想図が描けない

- ・ 人口減少・少子高齢化…
- ・ 財政難、老朽化、陳腐化…

その先の、道へ。北海道

Milestone
for 150years
Powered by
DOSANKO

マイルストーン：里程標、一里塚、道しるべ、また、これらの意味から転じて、画期的な出来事、節目といった意味を持つ。

■ 歴史文化施設の役割

北海道150年の節目に、歴史文化の価値を見つめ直し未来へと継承

- ・ 歴史文化の拠点：道民・企業・観光客等の**情報交流を促進**
- ・ 多様な主体の**協働によるマイルストーンづくりを牽引**

提案

■ 基本コンセプト

- ・ 道民の日に向けて、北海道開拓の村から取り組むファンドレイジングモデルプログラム
- ・ 北海道150年事業・赤れんが庁舎リニューアル、地域への波及も視野に入れた協働の取組

★レンガメッセージ

未

[公募型記念寄付]

レンガプレートを販売、購入者がみらいへのメッセージを記入して道に提供、みらいサポーターと協働でアート/オブジェを作成し歴史文化施設に展示・保管

★北海道開拓の小径

未



★DOSANKOベンチ



[ネーミングライツ（役務提供型）]

北海道開拓のシンボル（開拓の村の道、馬車鉄道等）にネーミングライツスポンサーを公募、スポンサー料（対価）を金銭によらず周辺環境の整備やイベント協賛等のCSR活動で受け取り、歴史文化施設の保存と継承に資する

[公募型寄附(ストリートファニチャー)]

「思い出ベンチ」（東京都）、「あずましいベンチ」（北海道）の事例を踏まえ、北海道150年ロゴを入れるなどした統一的な道産木材のベンチや案内表示等の利便施設を公募型寄附により公園施設等に整備

★発信・体験・共感

[フラッシュ・モブ]

未

歴史文化施設のスタッフ・サポーター等が仕掛人となり「北海道の歴史とみらい」をテーマとしたダンス等のパフォーマンスを突如披露、SNSの拡散効果を活用した施設のPRと活性化、北海道150年の気運醸成を図る

★交流・協働・創造

[コラボ・カフェ]

未

歴史文化施設に北海道ゆかりの漫画・アニメのキャラクター、初音ミク等とのコラボレーションによるカフェを展開、異世代・異業種交流の場として、協働による新たな価値の創造を促す